

若干の増員だけでコロナ対応出来るか

3月24日、保健協3役は今年度の異動について部交渉を行った。コロナ再拡大で追い詰められる職員の思いに応えていない組織・人員体制について追及した。

事務所	増減	内訳
芦屋	1増(保)、再任用短2増(保・放)	保+1、再任用短+1(保+1)、再任用短+1(放射+1)
宝塚	1増(保)	(R2途中の保+1)
伊丹	1増(保)	地域保健:参事兼課長→参事の兼務解消(保+1) 薬務:正規→再任用フルに振替
加古川	2増(保)、再任用短△1(保) 再任用短1増(薬) 再任用短△1(事)	健康管理:参事兼課長→参事の兼務解消(保+1) 再任用短△1(事) 地域保健:R2に健康管理へ異動分の補充(保+1)、再任用短△1(保) 食品薬務:再任用短+1(薬)
加東	1増(検)、再任用短△1(検)	健康管理:検+1、再任用短△1(検)
福崎	再任用短2増(保)	再任用短+2(保)
龍野	2増(保・栄)、再任用短△1(保)	健康管理:保+1、栄+1 地域保健:再任用短△1(保)
赤穂		地域保健:副所長兼課長→副所長の兼務解消(副所長介護休暇) 担当:栄→放に振替
豊岡	1減(検)	食品薬務:担当→役付振替 検査室:担当△1(検)、再任用短+1(薬)。再任用短△1(検)
朝来	丹波と所長が兼務	副所長→健康参事に振替 食品薬務:担当(食監)→再フルに振替
丹波	2増(保・獣)、再任用短△2(保・薬) 再任用短△1(事)	健康管理:保+1、再任用短△1(保) 食品薬務:担当(食監)+1、再任用短△1(薬)、再任用短△1(事)
洲本	1増(獣)、再任用短△1(獣)	食品薬務:担当(環監)+1、再任用短△1
食検C	なし	
動愛C		本所:動指+1、再任用短△1(動指) 動管:再フル+1(獣)、再任用短△1(獣) 龍野:獣医再役付振替 但馬:指導員→獣医に振替
部	1減(歯)	健康増進:歯科衛生士→総合衛生学院欠員補充へ

<主なやり取り>

組合:全体で増にはなったが、保健協の人員職場要求から、これでは足りない。人員減となった豊岡保健の検査室は水質検査、全項目実施しており200件/月。民間検査所がない地域。定数減はしんどい。検査機器が入れば(更新できず2年間健科研に依頼している)更に忙しくなる。

当局:精一杯頑張った。検査技師はこれまで但馬の人が多かったが、通勤可能な人を確保するのが困難な状況となっている。

組合:新任検査技師は病院採用のみでなく、保健所採用も行なって人材確保して欲しい。

組合:健康増進課の歯科衛生士1名減、本庁集約時の交渉経過があり。あらためて話し合いの場を求める。

当局:年度内に総合衛生学院で歯科衛生士1名退職し欠員となっており、維持させた。あらためて話し合う。

組合:コロナ対策、予防接種など地元医師会や病院との調整連携が必要な中、園域をまたいだ丹波と朝来の所長兼務は理解できない。

当局:医師の確保が難しかった。体調不良で退職される所長があった。

組合:地域保健課長・専門員の健康管理専門員兼務は「危機管理対応時に全所体制で取り組みやすくするため」との説明だが、実際の所は2課体制のままで人を動かすのは大変である。これについてはあらためて説明を聞いてやり取りさせてもらう。反対しているわけではない。現場にわかりやすい説明をして欲しい。

当局:わかりました。

組合:コロナで一年経過した。過重労働の連続で、現場はイライラが募り、息苦しい状態。中途退職の増加に表れている。

<3月29日、「赤穂の所長兼務解消ならず」との当局説明あり。要求が叶った直後の現場の落胆は大きく・・・>

組合:今回の異動内示で、赤穂の所長兼務が解消となるはずであったが、結果として採用辞退により兼務となった。引き続き所長兼務解消に向けて、医師の確保に努力してもらいたい。

当局:わかりました。